

未来に、胸を張ろう。



## 2000万署名で戦争法廃止へ

## 私の一言

2001年9月11日、アメリカの同時多発テロのニュース映像を見ながら、これでとうとう第3次世界大戦が始まるのかと暗い気持ちになったことを記憶している。あの時はアメリカ国民の反対をよそに結局、湾岸戦争は始まってしまった。先日、「なぜ戦争はなくなるのか」という池上彰さんの番組を見た。そこでは、戦争はビッグビジネスであるため、アメリカは、軍需産業が国に利益をもたらすので絶えず戦争をしたいと考えているのだという。必要な時は広告代理店を使い、戦争を扇動すべくメディアを使って世論を操作するそうだ。戦争をしたくてたまらないアメリカに追随し、日本もPKO活動をはじめまさに巻き込まれていこうとしている。

高松協同病院西病棟では、戦争法案反対の署名用紙を入院患者様全員に配布している。中には「戦争のような怖い思いはもう二度としたくない」と話される患者様もおられ、続々と署名を寄せていただ

ている。夏の参議院選挙では自民党にNOをつきつけてぜひ戦争法案を廃止し「戦後～年」を継続したいと思う。

(高松協同病院リハケア部 福家妙子)



## 全日本民医連第42回定期総会(3/10~12 福岡) 方針案の学習・感想文提出を進めましょう!

2年に1度開催され、今回で42回目となる全日本民医連の定期総会が3/10(木)~3/12(土)の日程で、福岡市で開催されます。

すでに職員の皆さんにも総会に提案される運動方針案が配布されていると思いますが、今回の方針案では、「戦争か平和か、貧困の拡大か社会保障の拡充かの重大な岐路に立っていること、同時に主権者である1人1人の国民が政治を変え、希望を創り出す時代」を迎えていること、そして今後2年間の活動方針のキーワードとして、「運動は総がかりで、事業は積極的な連携で、職員育成は民医連らしい運動と事業から、新たな展望を主体的に創り出す2年間」としていくことが提起されています。

今回の総会には、香川民医連から、こどもクリニッ

クの中田所長、香川医療生協本部の松岡看護部長、協同病院外来リハ科の新名科長、みき診療所ケアマネの荒井さん、公園前薬局の真鍋事務長の5名の代議員が参加する予定です。総会での方針案の討議に、できるだけ多くの職員のみなさんの意見を持ち寄るためにも、各職場での読み合わせなども行いながら感想文の提出を進めていきましょう。感想文の第1次集約締切は2月26日(金)としていますので、特に、各事業所の管理者・職場長の方は必ず提出をお願いします。

また、総会后、3月20日(日)に予定している県連学運交での記念講演を始め、各事業所で総会方針の学習会を開催していく予定ですので、すべての職員が学習会に参加しましょう。

### ☆提出された感想文から☆

- ・第1章に書かれてあった通り、私たちの目指す先と安倍政権は真逆だと感じました。今のまま政治が続くと、知らない間に戦争へ流されていくと思います。先日、テレビでも同じことが言われていて、「戦争反対」と声を挙げにくい空気になりつつあり、もし言ったとしたら、昔のように非国民とまで扱われかねない。かつて戦争を体験した人も、「かつての雰囲気と同じものを感じる」とコメントしていたのを覚えています。
- ・方針の中に、「医療が分かる介護職」「生活を理解する医療職」の視点での相互理解を深め」とありました。全くその通りで、介護分野について全く分からないことが多いので、学んでいくことが大切だと思った。